

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3071000453		
法人名	医療法人 敬英会		
事業所名	グループホーム 幸楽の里(けやき)		
所在地	和歌山県橋本市隅田町山内1919-3		
自己評価作成日	平成30年7月11日	評価結果市町村受理日	平成30年11月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/30/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JirgosoCd=3071000453-00&PrefCd=30&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪府北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成30年8月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、自然豊かな環境に囲まれ、リビングからは四季の移り変わりを肌で感じる事ができます。家庭的な雰囲気を大切に、花見、お正月、クリスマス会、誕生日ケーキなど大きなイベントは手料理にて食事を美味しく、楽しんで頂いています。日頃の食事作りは一人ひとりの機能に合わせ、できるお手伝いをお願いしています。食事を美味しく食べるために、毎食後の口腔ケア、歯科衛生士の指導を受けています。地域の方との関係性を大切に、地域の草刈り等積極的に参加しています。運動会参加、盆踊り、クリスマス会は、楽しみの恒例行事となっています。看取り支援にも取り組んでおり、最後までその人らしく穏やかに過ごせる様に努めています。同じ敷地内託児所や社宅を設け、又、毎月抽選で野球観戦チケットやシネマのチケットが当たり職員のリフレッシュを含め、働きやすい環境に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着に基づき理念にもその旨をふまえ、地域と共に支えあう事を重きにおき実践に努めている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2ヶ月に1度、地域運営推進会議を開き、地域で開催される夏祭りや運動会などに利用者様共々、参加させて頂いている。又、当施設のクリスマス会に地域の方々をお招きするのが慣例となっていて、必ず参加下さっている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月に1度、ボランティアの方に来所して頂き、利用者様と話をしたり、レクリエーションに参加して頂いている。利用者様と共に過ごす時間を持って頂く事で、理解や支援を得られるよう努めている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、地域運営推進会議を開き、より良いサービスを提供出来る様、又、交流を深めていけるようお互いに情報を提供しあっている。避難訓練の実施状況も報告し、アドバイスを頂く事もある。災害が起きた時の協力もお願いしている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域運営推進会議には、市の職員の方にも参加して頂き、現在の状況や意見の交換を行っている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は施錠せず、自由に出入り出来るようになっている。転倒防止の為にセンサーマットやベッド柵の使用は、ご本人や家族様へ説明し、了解を得ている。また、食事の際、車椅子からずり落ちそうになる利用者様に関しては、家族様が安全ベルトを持って来られ使用させて頂いている。使用時間は必ず、記録に残すようにしている		

グループホーム 幸楽の里(けやき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	フロアー会議の際、テーマに沿って2か月に1度の割合で勉強会をしている。知識向上に努め、虐待や身体拘束がない職場であるよう努力していく		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度が必要な利用者様がほとんどおられないこともあり、勉強出来ていない状況である。今後、独居の方や、子供さんがおられない方の入居も増えてくる事も考えられるので、勉強する機会を持ちたいと思っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結や改定等の際は、時間をかけて説明し、理解して頂いているが、その後も疑問点などがある場合は、その都度しっかり説明させて頂き、理解して頂けるよう努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様が来所された時に、必ず職員から利用者様の日頃の様子をお話するようにしている。その際、家族様のご意見、ご要望があれば可能な限り、実行するよう努めている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人では月2回の全体会議を、幸楽の里では月1回フロアー会議を開いている。フロアー会議では全職員が参加して意見を出し合い、問題意識の向上を図っている。又、年に2回個人面談を行い、職員が意見を述べる機会を設けている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に自己評価を提出してもらった後に、管理者が職員一人一人と面接し評価をする事で、公平を期するようにしている。面接で職員としっかり話をする事で、職員が心地よく勤務出来る様に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外への研修は、人員の問題から数人程度となっている。介護福祉士やケアマネージャーなどの資格取得の為に勤務日の調整等、職員同士で協力し合うよう配慮している。又、合格者には奨励金制度を設けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会などで同業者と会う機会はあるものの、お互いに訪問したり、ネットワーク作りなどの為の交流は出来ていない。他施設の見学等が出来るのであれば積極的に参加してみたいが、現状少し困難である		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様自ら言葉で訴える事が出来ない場合が多く、家族様を介しての要望等を充分にお聞きするようにしている。丁寧な対応を心掛け、施設に慣れるまで決して孤立させない事を心掛けている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の要望や施設に入られる際の不安などをお聞きし、必要な事柄を見極め、全職員で情報を共有するようにしている。また、家族様の協力も得ながら施設で落ち着いた生活を送って頂けるよう努めている。入所後も、面会時や電話などでお話をするようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	これまでの暮らしの継続、その人らしい暮らしの継続の為に何が必要であるか、どう支援すべきかを職員間で共有し、家族様の協力も得ながらゆったりと落ち着いた生活が送れるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	普通の家庭生活を意識し、家事の洗濯干し・たたみ・お盆拭きなど、出来る事はお願いし職員と共にし、関係を築いている。又、利用者様一人、一人の体調に合わせたコミュニケーションを考え、共に楽しい一日となれる様に努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には施設での行事(祭り・クリスマス会など)に参加して頂くよう声掛けをさせて頂いている。利用者様の情報を伝える事により、家族様にも笑顔が見られ、とても喜んで頂ける時がある。また、利用者様の事を色々教えて頂くので、出来る限り家族様とお話するようにしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所の方や友人が来られる利用者様は少ないが、来所された時は居室にお通しし、お茶など飲み物をお持ちして、楽しい時間を過ごして頂けるよう対応している		

グループホーム 幸楽の里(けやき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	昼間、出来るだけホールで過ごして頂き、会話・計算問題・手芸などして頂いている。職員も良い雰囲気作りが出来るように個々に支援したり、仲立ちをしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で一時的に退所されている方に関しても、ご本人の状態を見に伺ったり、家族様よりの聞き取り等で把握し、再入所に備え、体制作りを整えるようにしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の希望を聞き、希望が通る内容か職員同士で情報共有している。上司に相談したり、家族様の意見も聞いて、なるべく気持ちに添うよう努力している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴などの情報より、ご本人が生き生きと好きな事を出来る環境を作るようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	其々の利用者の一日の生活リズムを把握し、気持ちよく過ごせるように声掛けしたり、また、作業等を記録に残し、心身の状態についてもしっかり記録に残すよう努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のカンファレンスを開いて、担当者・職員と話し合い、介護計画表に基づき実践している。主治医とも連携を図り相談したり、家族様にも説明を行い、同意を得ている。また、要望も聞き対処するようにしている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの実践により、日々気になった事などを記録に残し、情報を共有してどうなったかの実施結果を記録している。その中で気づいた事を新しいプランに入れていくか検討し、見直しを行っている		

グループホーム 幸楽の里(けやき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急な病変による受診等を家族様に代わって行い、家族様と密に連絡を取り合う		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的なボランティアの訪問や、地域の行事への参加、子供神輿等の訪問など地域との交流を図っている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様受診と往診の利用者がいるが、普段の様子や変化をすぐに医師や家族様に報告出来るようにしている。急変時はすぐに往診して頂いている利用者様もおられる		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月～金曜日は併設しているディサービスに連絡をし、処置等を行ってもらっている。体調や状態に変化があれば、些細な事でも大事をとって相談をしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後は介護記録や既往歴などの情報を医療機関に提供し、スムーズに対応して頂けるようにしている。家族様を通して本人の様子を聞いたり、職員が訪問し看護師に状態を確認したりする事もある。また地域連携室とも連絡を取り合って対応している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族様・医療機関・GHとの話し合いが持たれ、今後の方針を決めている。刻々と状況が変わる場合もあり、その都度家族様の意向や主治医の方針を聞き、対処方法を探っていく		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署よりの救急の手当ての講習を受ける機会があった		

グループホーム 幸楽の里(けやき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	無洗米や水を備蓄したり、昼夜を想定した避難訓練も行った。消火器の使い方、消防署への通報や、周囲同僚への援助を求める事も職員全員が意識している。また、地域運営推進会議の際に訓練の報告も行い、地域の方々にも協力して頂ける様お伝えしている		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	親しみを込めた言葉遣いをしつつ、上からの物の言い方にならないように努めている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思を表現出来る人には、どうしたいのか確かめる。そうでない人に対しては表情や生活リズム等で利用者様の気持ちを汲み取り、支援を行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全ての人の希望に沿った支援は出来ない。出来るだけその人らしい過ごし方が出来るようには努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	同じ洋服が続いたりしないよう、気をつけながら着て頂く洋服を選んでいる。また、洗顔後に手持ちの化粧水や乳液を使って頂いている利用者もおられる		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間が楽しくなるよう、季節の物を取り入れたり、彩りも考えている。また、ジャガイモの皮むきや盛り付け、お盆拭き等、出来る事をして頂いている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	野菜を沢山摂って頂ける様なメニューを考えている。水分量が少ない利用者様には、色々な種類の飲み物を用意し、少しでも飲んで頂ける様、こまめに声掛けを行っている		

グループホーム 幸楽の里(けやき)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアは行っているが、拒否される時は時間をおいて対応するなどしている。口臭が気になる利用者は舌苔を取るブラシを使用している。また、週に1度歯科衛生士が口腔ケアを行い、必要であれば歯科医が来て治療も行っている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排尿パターンを把握し、トイレ介助を行っている。立位の出来ない人は二人介助で誘導したりし、出来るだけトイレでの排泄支援に努めている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜を多くとり入れたメニューを考えたり、毎朝ヨーグルトを提供している。また、便秘気味の方には牛乳を飲んで頂き、出来るだけ自然排便を促すよう努力している。それでも排便が見られない時は、薬を追加したり看護師にテレミン座薬を挿肛してもらったりするなどして便秘状態が続かないようにしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	隔日が入って頂いている。曜日等の希望をきくのは難しい面もあるが、午前・午後等のご希望には出来るだけ浴よう配慮している。どうしても入りたくないと言われる方は、無理強いせず、日にちを変更する事もある		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入所前、朝遅くまで寝ておられた利用者様には、施設に入られた後もゆっくり寝て頂けるよう、最後に声掛けしてもらいなどの配慮をしている。又、余り眠れなかった利用者様や希望される利用者様には、お昼寝して頂くよう声掛けし、休息の時間を持って頂くようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的に服用している薬は、薬箱に1週間分セットし、表から見て分かるように薬名、用法などを記載した紙を貼り、職員全員が把握出来る様にしている。臨時薬が出た時は、申し送りノートに記載すると共に、薬箱にも服用薬品名用紙を添付するようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとりひとり、出来る事が違う為、その人に出来るお手伝いをして頂いている。また、歌の好きな方には、カラオケを楽しんで頂いたり、編み物の好きな方は家族様と連絡を取り合い、毛糸を持って来て頂くなどそれぞれが楽しめるよう支援している		

グループホーム 幸楽の里(けやき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族様と楽しく出掛けられるよう、利用者様の体調を前もって連絡している。親戚が集まる法事に出掛けたり、また、家族様の協力のもと、散髪や毛染めに出掛けられる利用者様もおられる。その際は、薬やその他必要な物を準備し、気持ち良く過ごして頂けるよう配慮している		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分でお金を使う事の楽しみといったものを体験するのは大切だと思うが、中々出来ない。しかし、春の遠足の際にお金を渡し、好きなジュースを自販機で購入して頂く支援はさせて頂いた		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様から、手紙を送りたいとの訴えはないが、たまに家族に聞きたい事や言いたい事があると云われた時は職員が家族様に電話を入れ、利用者様に代わり、お話が出来るよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に、写真やディスプレイをしたり、気持ちを落ち着かせるフィーリング音楽や、昔懐かしい童謡をかけたりしている。また、トイレは排泄臭がしないよう1日2回の掃除のほか便器が汚れたらすぐ掃除している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った人とソファで話をされたり、テレビを観られたりしている。一人でゆっくりしたい場合は、お部屋で休んで頂くようにしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具・大切な思い出の品を居室に配置するなど、家で過ごして頂いているような状態に近づけている。また、家族様との写真を飾ったり、安心して過ごして頂けるような部屋作りを心掛けている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各部屋には、表札がかけられており、雰囲気、自らの部屋も把握されている様子である。自らトイレに行かれる方には、トイレの場所が理解して頂けるようトイレに表示をつけるなどの配慮もしている		